

TOKYO UNIVERSITY OF FOREIGN STUDIES

東京外国語大学

言語文化学部・国際社会学部



Today's Program 英語科教育法



英語科教育法は英語教師をめざす学生を中心に、英語指導法の基礎的な知識とスキルを学ぶ科目。単に指導理論を学ぶだけではなく、「コミュニケーション」を重視した実践的な指導スキルを身につけるのが特徴だ。

授業の「狙い」を意識して効果的に黒板を使う

今日の講義は、黒板上でビジュアル要素を効果的に活用する方法を学ぶ。文法事項の解説をするのに、英語教師さながらに、一つひとつ声に出しながら單語をホワイトボードに書いていく。発音も文字もきれいだが、実際に中学校や高校の教壇に立つ先生に比べると、立ち居振る舞いはどうかぎこちない。

「書いた文が子どもたちに見えるように、立ち位置に気をつけて書けていたね」と声をかけるのは、言語学のスペシャリストとして、自身も高等専門学校で教鞭をとった経験のある投野先生だ。

授業の「狙い」を意識して効果的に黒板を使う

この講義の魅力だ。

次の課題は、黒板の整理の仕方。教科書に授業が終った後、黒板が描かれていたり、ごちゃごちゃしていくわかりづら

い。どのように整理すればいいのか、ごちゃごちゃしていくときに、黒板の使い方やビジュアル素材の扱いは、子どもたちの理解度を高めるうえで欠かせないスキルだ。

まずは、基本的な黒板の使い方から。教科書に二つのイラストが描かれている。「AとBではどんな違いがありますか」という先生の問いかけに対して、学

生たちは次々と挙手をして答える。「Aは先生の身体で黒板の文字が見えなくなっている」「Bの先生は体を横向きにする」と、子どもたちの様子を見ながら書くことできる。教

室は30人ほどの中でも近い。先

生との距離もあり、ゼミの自由度も大きいが、ゼミの

資料請求は簡単! 本紙に掲載した大学(私立大学のみ)の案内資料は、P36のハガキ、または東進のウェブサイトwww.toshin.comから請求できます。

VOICES 学生の声 of University Students



松谷 秋帆さん(左)

国際社会学部 アフリカ地域専攻2年
中学、高校と教えてもらう立場だったのですが、教える側の視点から英語を学ぶことができる点におもしろさを感じます。私が習った中高の英語の先生方も、こういうことを意識しながら授業をされていたんだといふこともわかるので、興味が尽きません。また、他の学生と席が近く、授業中にコミュニケーションをとる機会も多いので、いろいろな考え方に対することができるのも楽しいです。

牧原 広幸さん(右)

国際社会学部 アフリカ地域専攻2年
英語科教育法の一番の魅力は、実際に他の学生を見立てて指導スキルを磨いたり、黒板や教材を使って実演したりできるところです。実際に人に教えてみると、教科書を読んでいるだけではわからない発見があり、たいへん勉強になります。将来の目標は高校の英語教師になること。実際の授業の場面で生かすことができるよう、できるだけ多くの知識やスキルを吸収したいと思います。

「Dancing and swimming」踊りと泳ぎ)。20秒ほど間を空けながら次々と問い合わせられる。「終わったら周りで見せ合って一番下手な人を選んでください」と、投野先生は冗談交じりに課題を進めていく。「これはひどい」「ダンシングは難しい」。いつもと一味

違う。このレッスンのポイントは過去完了形。单語などは授業の流れに応じて、途中で消したとしても、過去完了形のセンテンスがあるのだ。

授業の見解はこうだ。このレッスンのポイントは過去完了形。单語などは授業の流れに応じて、途中で消したとしても、過去完了形のセンテンスがあるのだ。

最後はちょっとしたイラストの練習。英語の授業ではピクチャーカードを使って、単語の練習や英文内容の説明などを行うことがあるが、教師自身が臨機応変にイラストを書くことができれば授業の幅は広がる。

イラストの巧拙も指導スキルのひとつ!

違った講義の展開に、学生たちの表情も生き生きとして見える。

「こういうスキルがあれば、海外などの設備のない学校に行つても、黒板とチョークだけで授業を行なうことができます」と授業の幅は広がる。

英語教育のプロフェッショナルを目指す実技指導を交えた実践講義

授業中に小規模の実習的な活動を繰り返す「マイクロティーチング」の技法を使って、英語指導法の知識とスキルを学ぶ。

発表や話し合い活動などを通して、学生同士が学び合う雰囲気の中、実践的な指導力を身につけることができる。

東京外国語大学

言語文化学部
国際社会学部

[沿革・歴史]

1873年	東京外語学校(官立)開設。5学科(英・仏・独・露・清語)を設置
1911年	新たに5学科(蒙古語、暹羅語、馬來語、ヒンドゥー語、タミル語)を設置し13学科となる韓語学科を朝鮮語学科に改称
1916年	葡語学科を設置し、14学科となる
1949年	12学科(英米、フランス、ドイツ、ロシア、イタリア、イスパニヤ、ポルトガル、中国蒙古、インド、イングリッシュ、シャム)を設置
1956年	専攻科の設置。修業年限1年。専攻課程「英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語ロシア語、イスパニヤ語、ポルトガル語、中国語、蒙古語、ウルドゥ語、ヒンディー語、イングリッシュ語、シャム語」の13専攻
1977年	朝鮮語学科を設置。大学院地域研究研究科修士課程を設置
1999年	独立百周年(建学百二十六年)記念式典挙行、「東京外国語大学史」刊行
2000年	ドナルド・キーン氏(コロンビア大学名誉教授)に最初の名誉博士学位を授与
2012年	府中新キャンパスに移転

資料の請求およびお問い合わせ先

<http://www.tufts.ac.jp/>
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
東京外国语大学 戰略支援室
TEL:042-330-5158

[オープンキャンパス情報]

- ①7月27日(土)
 - ②11月23日(土・祝)
- *詳細は大学ホームページを参照

